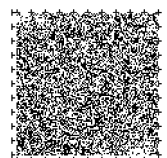


# 福岡市 環境基本計画 (第四次)

## 概要版

人・まち・自然が調和し、  
心豊かに住み続けられるアジアのモデル都市





## 基本的事項

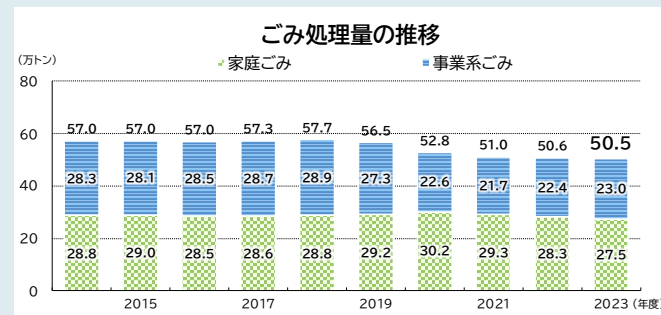
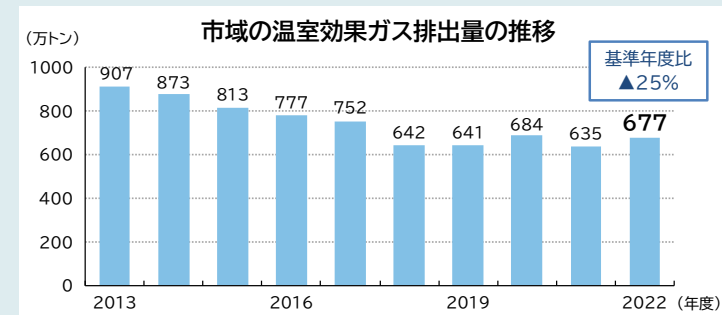
福岡市の環境に関する長期的な計画です

### ●計画策定の趣旨

前計画に基づく取組みの推進により、温室効果ガス排出量やごみ処理量の削減などの成果をあげてきた一方で、漁獲量の減少等に見られる生物多様性の損失といった課題も残されています。

また、気候変動や生物多様性の損失及び汚染など、環境を取り巻く状況が世界規模で大きな問題となる中、環境保全と経済成長を両立する機運が急速に高まっており、従来の環境政策のあり方にも大きな変化が求められています。

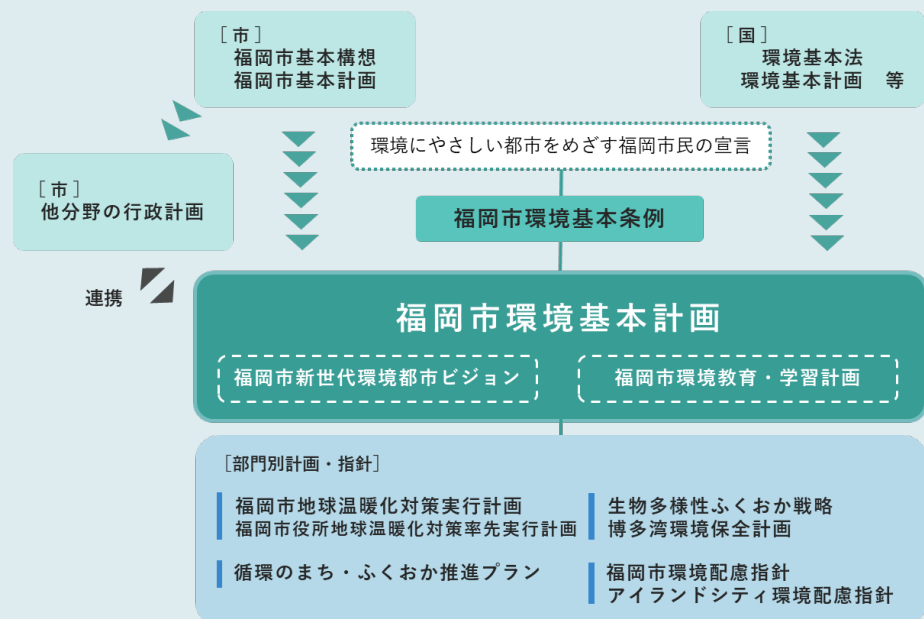
このような情勢の変化等を踏まえ、豊かな環境を将来世代へ引き継いでいくため、福岡市環境基本計画（第四次）を策定しました。



### ●計画の位置づけ

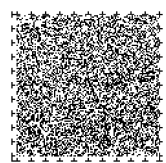
本計画は「福岡市環境基本条例」第7条に基づき、環境の保全及び創造に関する総合的かつ長期的施策の大綱を定めるものです。

「福岡市基本計画」を環境面から総合的・計画的に推進するための基本指針であると同時に、環境分野における部門別計画・指針等の上位計画として位置づけています。



### ●計画期間

2025（令和7）年度～2034（令和16）年度



## 改定の背景（環境問題をめぐる世界の動き）

環境問題は国内外で喫緊の課題です

### 既に地球の平均気温は 1.1℃上昇

2011 年～2020 年の世界の平均気温は、産業革命前に比べて約 1.1℃上昇しています。温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、気温は今後も上昇する可能性が高いと予測されており、洪水、干ばつ、暴風雨等による被害の深刻化が懸念されています。



出典：地球温暖化の影響・適応情報資料集（環境省）

### 1.5℃上昇に抑えないと地球が大変

パリ協定の目標では、2℃上昇を食い止めることを軸として、1.5℃は二次的な努力目標とされてきました。しかし、2018 年に発表された「1.5℃特別報告書（IPCC）」では、両者の間で気候変動の影響について劇的な違いがあると強調されました。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト  
(<https://www.jccca.org/>)

### 大量生産・大量消費・大量廃棄からの転換

今後、急速な都市化の進展や人口増加により、世界の廃棄物の発生量は増加し続けることが予測され、プラスチックごみ等による汚染の拡大が懸念されています。

これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動から、人と自然とが共生し、持続可能な形で資源を利用する「循環経済（サーキュラーエコノミー）」への移行を目指すことが必要不可欠です。

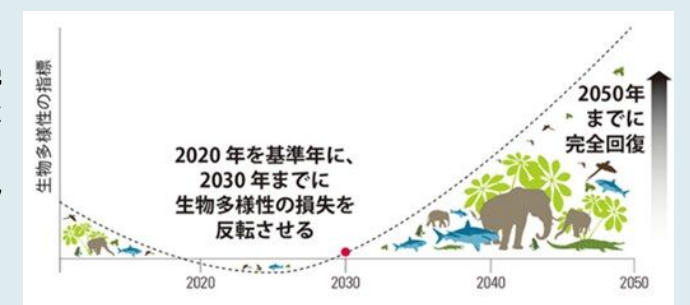


出典：経済産業省 HP より作成  
([https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyocircular\\_economy\\_02.html](https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyocircular_economy_02.html))

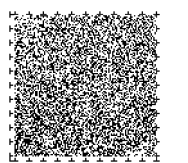
### 生物多様性の回復

人間活動の影響により、過去 50 年間の地球上の種の絶滅は、過去 1,000 万年平均の少なくとも数十倍、あるいは数百倍の速度で進んでいると指摘されています。

2022（令和4）年に採択された「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」では、自然を回復軌道に乗せるために、生物多様性の損失を止め、反転させるための緊急の行動をとる、「ネイチャーポジティブ」の実現が 2030 年ミッションとして掲げられました。



出典：WWF ジャパン「生きている地球レポート 2022」







## 改定の背景（福岡市の今とこれから）

福岡市の環境に関する基本的事項を整理しました

### 都市と自然が調和したまち

福岡市は博多湾に面し、南は脊振山地に、東は三郡山地に囲まれた地形をしており、豊かな自然環境と充実した都市機能が調和した都市です。

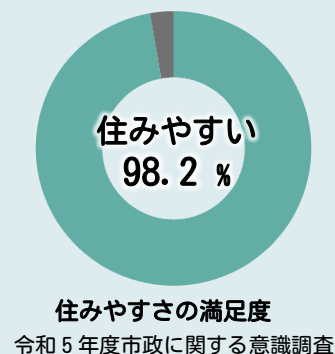
脊振山地は標高約 1,000m に達し、海拔 0m の沿岸部から高地まで標高差のある地形は、気候や植生の異なる多様な環境を形成しています。

沿岸部の一部には、干潟や砂丘、海浜植物の群落などが存在し、渡り鳥や水生生物の貴重な生息地となっています。加えて、島しょ部には、自然海岸など豊かな自然環境が現存し、多種多様な生きものが生息・生育しています。



### 住みやすいまち

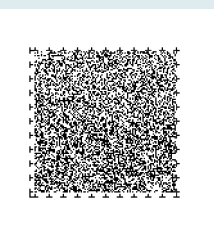
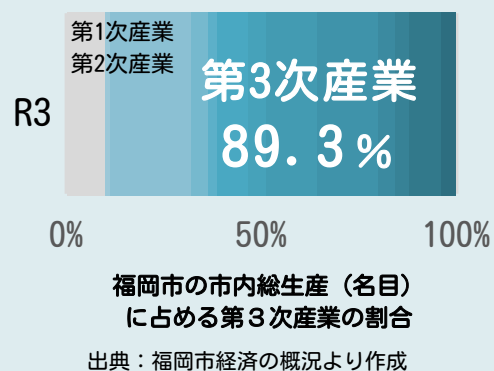
「令和 5 年度市政に関する意識調査」では市民の 98.2% が福岡市は「住みやすい」と回答しており、その理由として、自然環境の豊かさ、新鮮でおいしい食べ物の豊富さなどが挙げられています。



### 産業が多種多様で元気なまち

市内総生産は第 3 次産業（サービス業、商業など）が約 9 割を占め、また、市内事業所数に占める中小企業の割合は 99% 以上で業種も多様です。

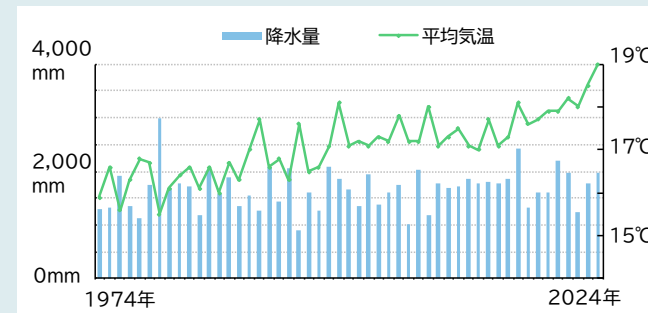
さらに全国的に見ても開業率が高く、スタートアップが盛んな都市でもあります。



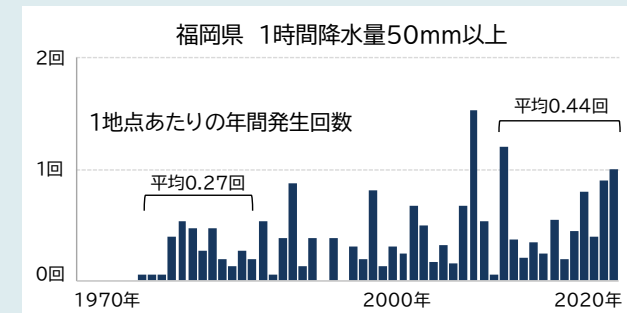
### 気候変動の影響が現れています

福岡市の年平均気温は上昇傾向にあり、2024（令和 6）年の年間平均気温は観測史上最も高い 19.0℃ を記録しました。

年間降水量に大きな変化は確認できませんが、福岡県における 1 時間降水量 50mm 以上の短時間大雨の年間発生回数は 1980 年前後と比較して約 1.7 倍に増加しています。



出典：気象庁ホームページ各種データ・資料より作成

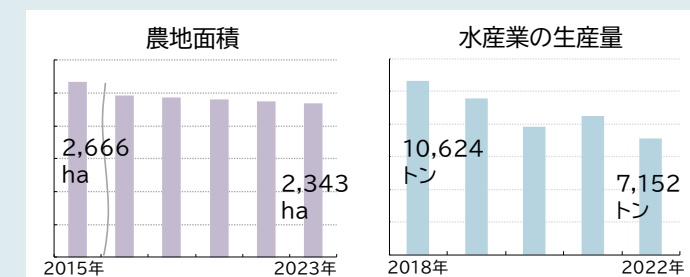


出典：福岡管区気象台 九州 山口県の気候変動監視レポート 2020 より作成

### 農林水産業は縮小傾向

福岡市の農業、水産業ともに戸数、従事者数の減少が続いており、農地面積や水産業の生産量も減少傾向にあります。

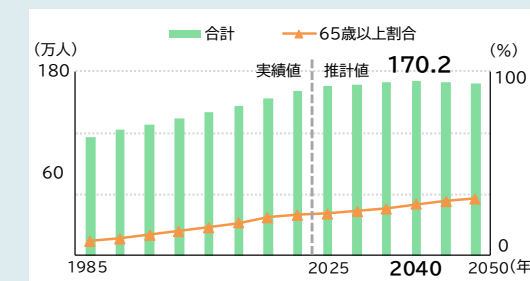
また、博多湾のアサリや、春の風物詩である室見川のシロウオの漁獲量が減少しているほか、豊かな命を育む里地里山環境の消失等が進行しています。



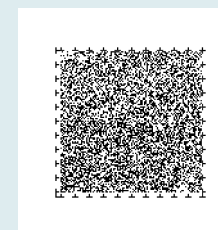
出典：福岡市の農林水産業及び中央卸売市場の概況より作成

### 今後も人口は増加し、高齢化も進行

福岡市の人口は増加し続け、2040（令和 22）年頃には約 170 万人に達し、ピークを迎える見込まれています。また、高齢化も進行し、2050（令和 32）年には 65 歳以上人口が 3 割を超えると予想されています。



出典：福岡市の将来人口推計(2024(令和 6)年 4 月)より作成





## 改定の考え方（ポイント）

以下の視点で計画の改定を行いました

### ①「行動変容」の視点

環境危機は一層深刻化しており、対策は待ったなしの状況です。解決に向けては、行政だけでなく、市民や市民団体、学校、事業者などあらゆる主体、市民一人ひとりの行動の変容が必要不可欠であり、多様な媒体や手法を活用した広報啓発等により、ライフスタイルやビジネススタイルの転換を図ります。

### ②「事業者連携」の視点

理想の環境都市像の実現に向けては、日進月歩で進むグリーンイノベーションや民間サービスの活用が重要です。行政としてこれらの技術やサービスの社会実装を後押しするなど、これまで以上に積極的に事業者と連携した取組みを推進していきます。

### ③「脱炭素・循環経済・生物多様性の統合的推進」の視点

「脱炭素」「循環経済」「生物多様性」の3つの分野は密接に関わっており、解決に向けた対策も相互に影響し合うことから、これらの取組みにあたっては、負の影響を最小化するとともに相乗効果が得られるよう、統合的な推進を図ります。

（例：メガソーラーを設置するために過度に森林を伐採すると生物多様性の損失を生む（負の影響）。リサイクルの取組みは、モノの廃棄に伴う焼却が減り、温室効果ガス排出量削減に寄与する（相乗効果）、など。）



## みんなでめざすまちの姿

2050年の理想の環境都市像を設定しました

環境に関しては、中長期的な視点で施策を推進することが重要とされており、本計画では、2050年の理想の環境都市像（みんなでめざすまちの姿）を設定しました。

また、全ての環境施策を進めていくうえで大切な統合的・横断的な3つの行動指針を示しています。

### <みんなでめざすまちの姿>

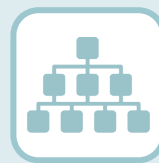
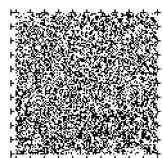
人・まち・自然が調和し、心豊かに住み続けられる  
アジアのモデル都市

～みんなでめざすまちの姿に向けた行動指針～

日々の暮らしや営みの中に環境への配慮が浸透しているまちを目指します

豊かな自然の恵みや都市資源を活かした循環のまちを目指します

環境への取組みが都市の魅力を高め、持続的に発展するまちを目指します

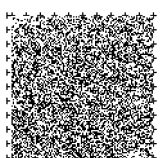


## 環境施策の展開（施策体系）

今後10年間の取組みの方向性を決めました

2050年の将来像の実現から逆算し、今後10年間の取組みの方向性を決めました。分野横断的に取り組む必要がある「重点施策」を2つ、重点施策と連動し、環境課題の柱として着実に取り組む必要がある「基本施策」を5つ設定し、施策を展開していきます。

節		項	分類	
重点 施策	1	【行動変容】 環境行動を実践するまちづくり	1 環境にやさしい行動の輪を広げる	① ライフスタイルの転換の促進 ② 環境情報の効果的な発信
			2 環境に関する学びの輪を広げる	① 環境保全・創造に向けた人づくり ② 環境保全・創造に向けた地域づくり
	2	【事業者連携】 環境経営を実践するまちづくり	1 環境にやさしいビジネススタイルを定着させる	① ビジネススタイルの転換の促進
			2 環境と経済の好循環を創る	① 民間活力の活用 ② 環境ビジネスの拡大
基本 施策	1	【脱炭素】 カーボンニュートラルを実装したまちづくり	1 温室効果ガス排出量を減らす	① 都市の特性を踏まえた脱炭素戦略の策定及び推進 ② 家庭部門の脱炭素化
				③ 業務部門の脱炭素化 ④ 自動車部門の脱炭素化
			2 気候変動によるリスクに備える	⑤ 公共施設等の脱炭素化
				① 温暖化による影響の回避・軽減
	2	【循環経済】 地球にやさしい循環のまちづくり	1 ごみの減量と資源化を進める	① 家庭ごみの減量・資源化 ② 事業系ごみの減量・資源化
			2 ごみの適正な処理を進める	① 適正処理の推進 ② 廃棄物処理体制の構築
	3	【生物多様性】 多様性にあふれた自然共生のまちづくり	1 生物多様性を守り、活かす	① 生物多様性の保全・回復・創出 ② 生物多様性の恵みの活用
				③ 環境配慮の促進
			2 水と緑を守り、活かす	① 水辺環境の保全、水資源の有効利用 ② みどりの保全・創出・活用
	4	【生活環境】 安全で良質な生活環境のまちづくり	1 安全・安心に暮らせる生活環境を確保する	① 安全・安心な生活環境の保全
			2 美しく、住みよい生活環境をつくる	① 景観の保全・創出 ② 環境美化の推進
	5	【広域連携】 九州・アジアとつながる環境協力のまちづくり	1 市域を超えた環境協力を進める	① 福岡都市圏との連携 ② 九州・国内各地域との連携
			2 環境技術を活かして国際社会に貢献する	① 国際貢献・国際協力





## 重点施策 1 節

# 環境行動を実践するまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

### 第 1 項 環境にやさしい行動の輪を広げる

市民一人ひとりの環境に対する意識を高め、環境配慮行動を支援・促進する効果的な施策や情報発信等に取り組み、環境にやさしいライフスタイルへの転換を推進します。

#### 主な施策

- ◆ **ライフスタイルの転換の促進**
  - 消費行動等の変容促進
  - 生物多様性の重要性の社会への浸透
- ◆ **環境情報の効果的な発信**
  - 多様な手段による広報啓発

など



環境フェスティバルふくおかの様子

### 第 2 項 環境に関する学びの輪を広げる

環境に関する学びの機会や場の提供、各主体のつながりの支援などを通じて、環境問題について主体的に考え行動する人づくり・地域づくりを進めます。

#### 主な施策

- ◆ **環境保全・創造に向けた人づくり**
  - 環境教育の推進
  - 環境行動のリーダーとなる人材育成
  - 学びの機会の創出
- ◆ **環境保全・創造に向けた地域づくり**
  - あらゆる主体・世代との連携、ネットワークの構築
  - 活動の場の提供

など



環境学習（調理くずの堆肥化）の様子

#### 市民意識（参考指標）

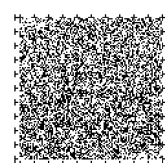
日頃から環境に配慮した暮らしを実践している市民の割合



環境問題の解決には、市民自らが行動することが必要と強く思う市民の割合



※（ ）は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



## 重点施策 2 節

# 環境経営を実践するまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

★：主な新規・拡充事業等

### 第 1 項 環境にやさしいビジネススタイルを定着させる

企業の環境配慮行動を誘導・促進する効果的な施策や情報提供等に取り組み、環境経営の面的な広がりを推進します。

#### 主な施策

- ◆ **ビジネススタイルの転換の促進**
  - 環境経営の主流化の促進
  - 脱炭素経営への移行促進
  - 資源循環の促進
    - ★廃食用油の再資源化促進
  - ネイチャーポジティブ経済への移行促進



廃食用油から作ったバイオディーゼル燃料の活用

### 第 2 項 環境と経済の好循環を創る

民間企業等が有する先進技術の実用化や社会実装に向けた支援を行うなど、環境保全と地域経済の活性化の両立を図る環境ビジネスの創出・拡大を支援します。

#### 主な施策

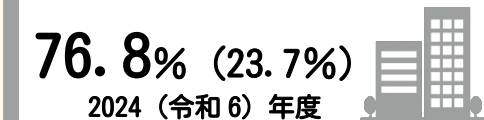
- ◆ **民間活力の活用**
  - 公民連携の推進
- ◆ **環境ビジネスの拡大**
  - 環境ビジネスの創出・振興
  - 脱炭素関連のイノベーション創出・社会実装
    - ★新技術の実装に向けた支援



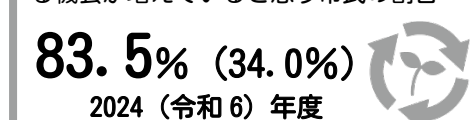
福岡市等の支援により、省エネ型のCO<sub>2</sub>分離・回収装置等の製品化に成功した九州大学発スタートアップ

#### 市民意識（参考指標）

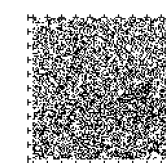
環境に配慮した活動を行う企業が増えていると思う市民の割合



環境に配慮した商品やサービスを目にする機会が増えていると思う市民の割合



※（ ）は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値





## 基本施策 1 節

# カーボンニュートラルを実装したまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

★：主な新規・拡充事業等

### 第1項 温室効果ガス排出量を減らす

脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換や、省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用拡大、イノベーションの早期社会実装など、温室効果ガスの排出削減等を図り、気候変動の緩和策を推進します。

#### 主な施策

#### ◆都市の特性を踏まえた脱炭素戦略の策定及び推進

- ・脱炭素先行地域を中心とした取組みの推進等
- ★国産ペロブスカイト太陽電池の実装、★地域経済の脱炭素化

#### ◆家庭・業務・自動車部門の脱炭素化

- ・建築物の省エネ化
- ・再エネの利用拡大 ★非化石証書の共同購入
- ・自動車等の脱炭素シフトの推進
- ・シェアリング等の推進

など



ペロブスカイト太陽電池

### 第2項 気候変動によるリスクに備える

自然災害の激甚化や熱中症リスクの増加など、すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動による被害を適切に評価し、回避・軽減させる適応策を推進します。

#### 主な施策

#### ◆温暖化による影響の回避・軽減

- ・浸水対策等
- ・健康被害の回避、低減
- ・農林業の適応

など



クールシェアふくおか協力施設の目印

#### 市民意識（参考指標）

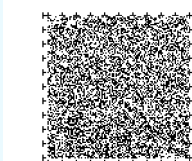
市民や企業、行政などが脱炭素に取り組んでいると思う市民の割合

52.2% (9.0%)  
2024 (令和6) 年度

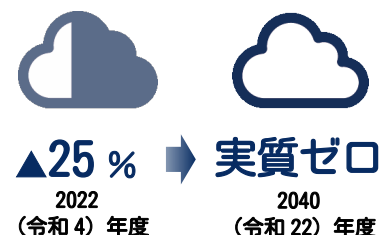
市民や企業、行政などが気候変動に伴う影響に備えていると思う市民の割合

63.6% (14.0%)  
2024 (令和6) 年度

※( )は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



#### 成果指標 温室効果ガス排出量



※2013 (平成25) 年度比  
※実質ゼロとは、「市域での温室効果ガス排出量」から「市外への貢献による削減量」と「吸収量」を合わせた量を差し引いた合計が実質的にゼロになっている状態。

## 基本施策 2 節

# 地球にやさしい循環のまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

★：主な新規・拡充事業等

### 第1項 ごみの減量と資源化を進める

廃棄物の減量に向けて、3R+リニューアブル（再生材利用等）の取組みを推進します。また、家庭ごみや事業系ごみの資源化に取り組み、循環経済への移行を図ります。

#### 主な施策

#### ◆家庭ごみの減量・資源化

- ・家庭ごみの発生抑制・再使用・リサイクル
- ★プラスチックリサイクルの推進
- ★誰もが出しやすい資源回収方策

#### ◆事業系ごみの減量・資源化

- ・事業系ごみの発生抑制・再使用・リサイクル
- ★食品廃棄物の資源化促進（飼料化・堆肥化・メタン化）

など



食品リサイクル・バイオガス発電施設

### 第2項 ごみの適正な処理を進める

平時から災害時まで、円滑に廃棄物を処理することができる安全・安心な処理体制を整備するなど、将来にわたって安定的なごみの適正処理に向けた取組みを推進します。

#### 主な施策

#### ◆適正処理の推進

- ・適正な廃棄、処理の徹底 ★持ち去り対策、★発火危険物の適正分別の推進

#### ◆廃棄物処理体制の構築

- ・持続的なごみ処理施設の整備・運用
- ・エネルギーの有効利用 ★西部工場再整備

など



西部工場再整備

#### 市民意識（参考指標）

市民や企業、行政などによるごみの削減やリサイクルの取組みが進んでいると思う市民の割合

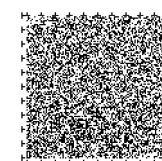
69.2% (14.2%)  
2024 (令和6) 年度

ごみや資源物が出しやすく、その収集や処理も適正に行われているまちだと思う市民の割合

84.0% (39.9%)  
2024 (令和6) 年度

※( )は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値

#### 成果指標 ごみ処理量



## 基本施策 3 節

# 多様性にあふれた自然共生の まちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

★：主な新規・拡充事業等

### 第1項 生物多様性を守り、活かす

ふくおかの豊かな自然と多様な生きものから受ける恩恵を将来にわたって享受するため、多様な主体と連携・共同して、環境負荷の低減や多面的機能の活用、生物多様性の保全・回復・創出に取り組みます。

主な施策

◆生物多様性の保全・回復・創出

- ・生きものの生息・生育環境の保全等
- ・生物多様性への負荷低減

◆環境配慮の促進

- ・環境影響評価
- ・環境配慮指針の改定、運用



干潟の生きものの観察会の様子

### 第2項 水と緑を守り、活かす

豊かな自然の恵みをもたらす博多湾や、市民に潤いと安らぎを与えるみどりを保全するとともに、豊かな水や緑を活かし、自然と共生した魅力的なまちづくりを進めます。

主な施策

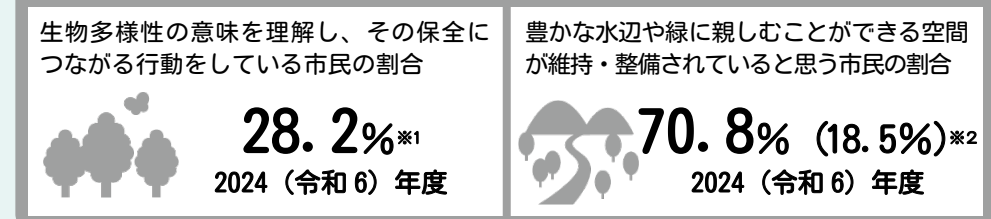
◆水辺環境の保全、水資源の有効利用

- ・博多湾の保全 ★栄養塩類のあり方検討
- ・干潟の保全
- ・親水空間の確保
- ・自然豊かな河川の保全

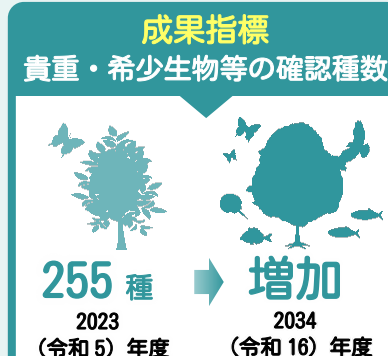
◆みどりの保全・創出・活用

- ・緑化推進 ★グリーンビル促進事業
- ・農地保全
- ・森林資源の循環利用

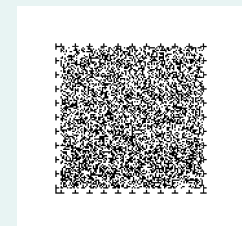
#### 市民意識（参考指標）



※1 「第10次福岡市基本計画 第1次実施計画」に掲げた指標であり、「理解して行動している」市民の割合  
※2（ ）は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



※生物多様性の回復により、絶滅危惧種を含む貴重・希少生物等の個体数が増加し、市内で確認できる種数が増加している状態。



## 基本施策 4 節

# 安全で良質な生活環境のまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

### 第1項 安全・安心に暮らせる生活環境を確保する

大気汚染や水質汚濁、土壌汚染等の発生防止、騒音・振動や悪臭の発生抑制に取り組むなど、様々な環境リスクの低減を図り、安全・安心に暮らせる生活環境を保全します。

主な施策

◆安全・安心な生活環境の保全

- ・大気汚染対策
- ・騒音・振動対策
- ・河川の水質保全
- ・有害化学物質対策



水質調査の様子

### 第2項 美しく、住みよい生活環境をつくる

市民や事業者との共働により、自然環境や歴史資源などを活かした、住みよいまちづくりを推進します。

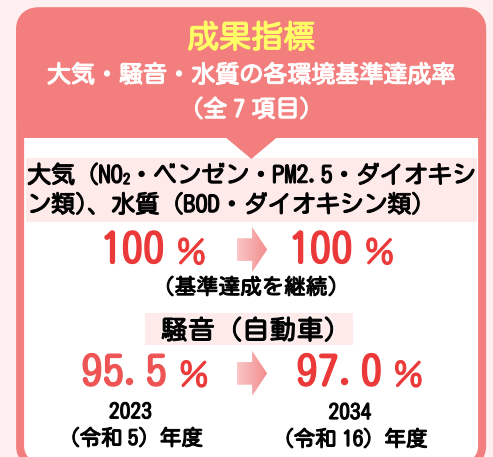
主な施策

◆景観の保全

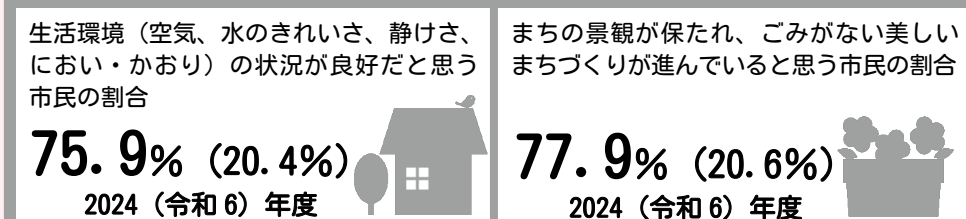
- ・都市景観形成

◆環境美化の推進

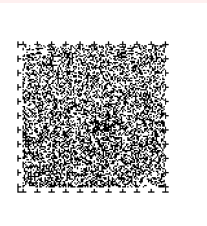
- ・モラル・マナーの向上
- ・まちの美化活動推進



#### 市民意識（参考指標）



※（ ）は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値





## 基本施策 5 節

# 九州・アジアとつながる 環境協力のまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



## 主な施策

### 第1項 市域を超えた環境協力を進める

福岡都市圏をはじめ、近隣自治体等と連携・協力し、気候変動問題や海洋プラスチックごみ問題等、広域的な環境問題の解決に向けた取組みを推進します。

#### 主な施策

#### ◆福岡都市圏との連携

- ・都市圏市町の環境協力
- ・水源地域・流域との連携・協力

#### ◆九州・国内各地域との連携

- ・四市（鹿児島市・熊本市・福岡市・北九州市）連携
- ・福北連携

など



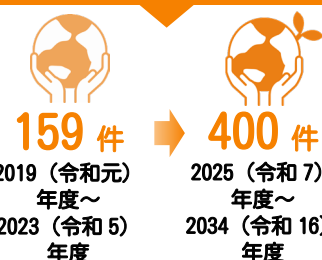
ラブアース・クリーンアップの様子



福岡方式の海外普及

#### 成果指標

海外からの研修・視察受け入れや海外への技術協力等による国際貢献・協力件数（廃棄物管理・上下水道技術）

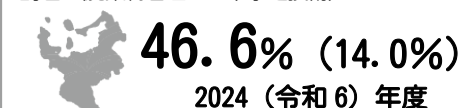


#### 市民意識（参考指標）

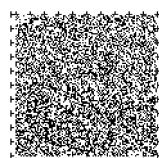
福岡市と近隣地域とが協力して、自然や生活環境が保たれていると思う市民の割合



福岡市の環境技術がアジアや世界に貢献し、存在感を高めていると思う市民の割合（廃棄物管理・上下水道技術）



※（ ）は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



## みんなでめざすまちの姿の実現に向けた行動

市民や事業者が取り組む行動の一例です

### 市民が取り組む 行動例

今持っている服を長く大切に着る



1年長く着れば  
国内の  
廃棄量 **4万トン以上** 削減

食事を食べ残さない



（現状）  
1人あたり  
お茶碗 **1杯/日** 廃棄量 削減

地元産の食材を選ぶ



食材の輸送にかかる  
エネルギー消費量 **削減**

省エネ家電に  
買い換える



10年前の製品と比べて…  
電気代  
年間約 **6,000円** 節約

住宅窓の改修



二重サッシや複層ガラスへ  
交換すると…  
電気代  
年間約 **16,000円** 節約

宅配サービスを1回で  
受け取る



（現状）国内の再配達で  
排出されるCO<sub>2</sub>の量  
福岡ドーム **110杯分** 削減

ごみを減らす



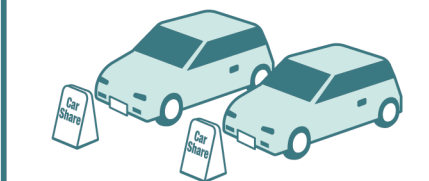
ごみ処理に使われる  
エネルギー消費量  
削減  
家計の節約にもつながる！

徒歩や自転車、  
公共交通で移動する



徒歩・自転車の移動で…  
健康増進、ガソリン代 **節約**

エコドライブ  
カーシェアリング



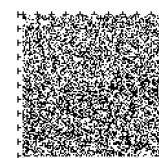
燃費改善、走行距離  
削減  
家計の節約にもつながる！

電気自動車の購入



走行中のCO<sub>2</sub>排出量  
削減  
非常用電源にも活用できる！ **ゼロ**

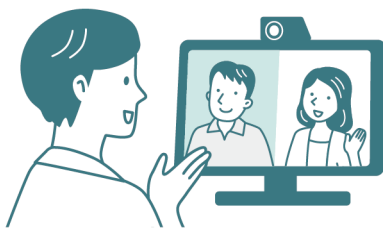
※記載の数値等は計画策定時点の情報





# 事業者が取り組む行動例

## 環境にやさしい働き方を推進する



WEB会議、オフィスカジュアルでの勤務などの働き方を取り入れる。

## CO<sub>2</sub>排出量の見える化に取り組む



事業活動にかかるCO<sub>2</sub>排出量を算定し、削減を行う。また、環境経営情報を適切に開示する。

## 省エネルギー化を推進する



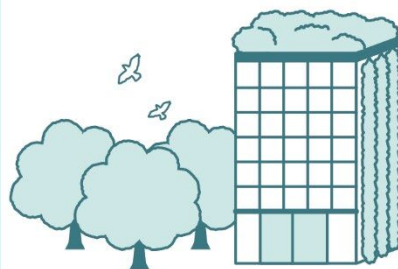
LED照明や高効率空調機器の導入など、エネルギーの効率的な利用を推進する。

## 再生可能エネルギーを導入する



太陽光発電設備の設置や再生可能エネルギー由来の電力を選択する。

## 緑を保全・創出する



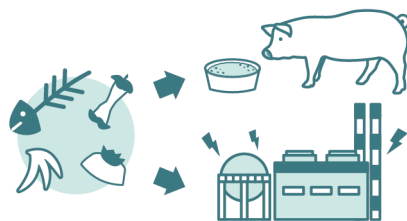
屋上緑化、壁面緑化などに取り組み、生きものにやさしい空間を創る。

## 生物多様性に配慮した事業活動を推進する



製品の原材料の調達等は、生態系への影響が少ないものを検討する。

## 食品廃棄物の削減に取り組む



商習慣の見直しを含む食品ロスの発生抑制や、発生した食品廃棄物の資源化を進める。

## 分別や資源化がしやすい商品開発に取り組む



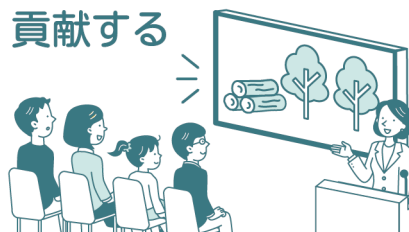
生産段階から再利用などを視野に入れて設計し、新しい資源の使用や消費を抑える。

## 大気環境や水質の保全に努める

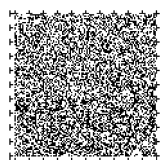


法令の規制を遵守し、事業活動に伴う大気汚染や水質汚濁の防止対策を講じる。

## 地域との共働により環境意識の向上に貢献する



地域の環境イベントへの積極的な参加や、場や機会等の提供に協力する。



福岡市環境基本計画（第四次）概要版  
2025（令和7）年9月 策定

発行元 福岡市環境局 環境政策部 環境政策課  
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号  
電話番号：092-733-5381 FAX 番号：092-733-5592